

2025 認知神経リハビリテーション・ベーシックコース（島根）／プログラム（対面・1日開催＋動画視聴）

08:40-09:00 受付

09:00-09:10 (10) オリエンテーション（コースの位置づけ、プログラム構成/休憩等、デジタル終了証の発行要件、懇親会の案内 など）

09:15-9:55 (40) 実技① 認知神経リハビリテーションの臨床を体験する（全講師＋スタッフ）

目標：体性感覚的な経験を通して学習する

10:00-10:40 (40) 講義① 身体と環境の相互作用と情報性（小川昌）

キーワード：知覚運動円環/運動と情報性/身体化された認知としての行為

目標：身体や運動について新たな視点の獲得、「認知」とは何かを知る

10:50-11:30 (40) 講義② 認知神経理論に基づく回復と学習の原理（宮本）

キーワード：認知神経リハビリテーションの理論と基本原則、回復と学習、脳の予測機構と多感覚統合による運動学習について

目標：行為空間の形成から運動イメージと運動学習について知る/アノーキンの予測機構と多感覚統合による行為空間の形成から運動イメージと運動学習について知る

11:40-12:20 (40) 講義③ 病態分析と病態解釈（江草）

キーワード：外部観察と内部観察/三人称と一人称の言語/認知過程による意識経験の変質について

目標：三人称観察(一般的評価)と一人称観察(意識経験の変質)の両面から行為の観察を理解する

12:20-13:00 昼休憩（40分）

13:00-13:40 (40) 講義④ 観察と訓練のための機能システム（福代）

キーワード：行為の機能システム/行為の創発特性/行為の情報メカニズムと情報の構築

目標：行為を生み出すためのシステムとして情報構築の視点から介入することを知る

13:50-14:30 (40) 講義⑤ 訓練の構築（小川昌）

キーワード：認知問題(空間問題・接触問題)と道具について/物理的道具と心理的道具について/訓練の組織化

目標：何に対して、どのような認知問題を立てるか、どのような道具立てを考えるかを知る

14:40-15:20 (40) 講義⑥ 片麻痺と整形外科疾患の病態と行為の回復（小川勝）

キーワード：機能解離と片麻痺の病態/特異的な運動の異常要素

目標：片麻痺、整形外科疾患を認知神経リハビリテーションの視点からみた病態と回復のメカニズムについて知る

15:30-16:30 (60) 実技② 臨床の体験と理論の結びつけ（全講師＋スタッフ）

目標：講義を通して、視覚的、運動的な経験と用語を結びつけ、認知神経リハビリテーションの臨床を知る

16:40-17:10 (40) 講義⑦ 行為間比較と認知神経リハビリテーション（宮本）

キーワード：行為の意図・記憶・イメージ/行為間比較

目標：行為の回復における行為の意図性や記憶を用いることの必要性を知る

17:10-17:25 (15) 質疑応答／エンディング（終了のあいさつ、入会案内、地域勉強会、その他事業について）

18:00 懇親会（会場周辺 参加費：4,000円 ※詳細は別途ご案内いたします）

（事前視聴動画：1 導入:6分30秒 2 上肢:120分 3 下肢:55分 4 体幹:52分）